特定保守製品

TOTO

浴室換気暖房乾燥機（日本国内専用）
TYB211型／TYB221型

■この製品は、平成21年4月1日施行の消費生活用製品安全法（消安法）で指定される「特定保守製品」です。
■製品の機能が十分に発揮されるように、この設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
■取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
■浴室リモコン（別売品）を接続する場合は、浴室換気暖房乾燥機設置の前に必ず浴室リモコン（別売品）専用の設置説明書をご覧ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では製品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示	意味	表示	意味
⃠	一般禁止	△	回転物禁止
⃠	分解禁止	⏚	アースを必ず接続せよ
❗	必ず実行		

⚠警告

表示	内容	理由
一般禁止	ファンやヒーターにさわったり、物を差し込まない	感電、けが、やけどのおそれがあります。
一般禁止	内釜式ふろを設置した浴室では使用しない	排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
一般禁止	温泉水などを引き込んでくる浴室では使用しない	製品が腐食して、漏電や製品が故障するおそれがあります。
一般禁止	本体を断熱材で覆わない	火災の原因になります。
分解禁止	絶対に分解したり、修理、改造は行わない	火災、感電、けがの原因になります。
必ず実行	電気電線の接続は確実に行う	不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。
必ず実行	《工事における注意項目》 ・電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行う。 ・電源コードはφ2mmの単線（VVFケーブル）を使用し、確実に接続する。・より線は使用しない。 ・圧着端子の接続には、それぞれの端子に合った、JISに定められた専用圧着工具を使用する。 ・電源ケーブルは確実に接続、固定する。また差し込み不足に注意する。　・改造は絶対にしない。 ・電源ケーブルを束ねたまま配線しない。　・ねじ止め時は、インパクトドライバーを使用しない。	
必ず実行	《設計・設置上の確認項目》 ・浴室は湿度が高いため、分電盤に漏電遮断器を設ける。　・機器容量にあった専用ブレーカーを取り付ける。 ・電力会社との契約電気容量が不足している場合は、追加工事を行う。	
必ず実行	《工事前の確認項目》 ・電気工事は必ず分電盤の浴室換気暖房乾燥機用ブレーカーを切って行う。　・電源電圧を間違えないように注意する。 ・電源ケーブルを束ねたまま配線しない。　・電源ケーブルなど、機器の配線は、発熱する器具（ダウンライトや浴室換気暖房乾燥機）から離して設置する。 ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属張りの木造建築に金属ダクトが貫通する場合は、電気的に接触しないように取り付ける。 ・屋内配線はφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する。・より線は使用しない。接続が不十分だと火災のおそれがあります。	
必ず実行	**指定する電源以外では使用しない** 【TYB211型 ： AC100V】【TYB221型 ： 単相AC200V】	火災・感電の原因になります。 100V品に200Vを印加すると基板が破損します。
アースを必ず接続せよ	アース（D種接地）工事がされていることを確認する	アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事はお近くの工事店にご依頼してください。

⚠注意

表示	内容	理由
一般禁止	**本体仮止め機構は一時的な固定なので、仮止めのまま放置しない**	**本体落下による傷害のおそれがあります。**
一般禁止	ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない	ランドリーパイプが過熱し、やけどや衣類が変色するおそれがあります。
一般禁止	本体を雨漏りなどでぬれる場所に取り付けない	故障の原因になります。
回転物禁止	運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない	回転による傷害のおそれがあります。
必ず実行	機器の取り付けは、設置説明書に基づいて行う	本体落下による傷害のおそれがあります。
必ず実行	製品重量に耐えるよう施工方法に従って取り付ける 【TYB211型：7.1kg】【TYB221型：7.4kg】	

2 お願い

●平成14年消防庁告示第1号の基準について

浴室換気暖房乾燥機の取り付けには、下図のような防災上の規制がある地域がありますので、不明な点は所轄の消防署など行政官庁にあらかじめご相談ください。
（本製品は、社団法人 日本電機工業会で定める「組み込み形などの浴室用衣類乾燥機の自主試験基準」に適合しています）

(例)東京消防庁設置基準

排気ダクトは不燃材を使用すること。

点検口

本体

排気ダクト

分岐ブレーカー

漏電遮断器

主幹ブレーカー

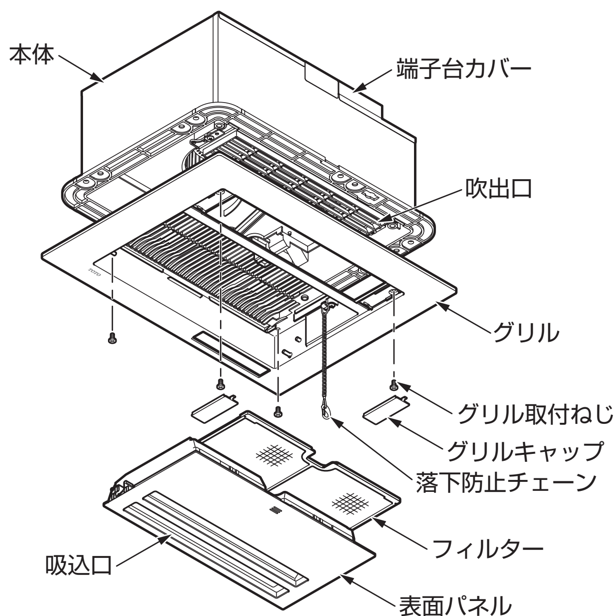
ランドリーパイプ

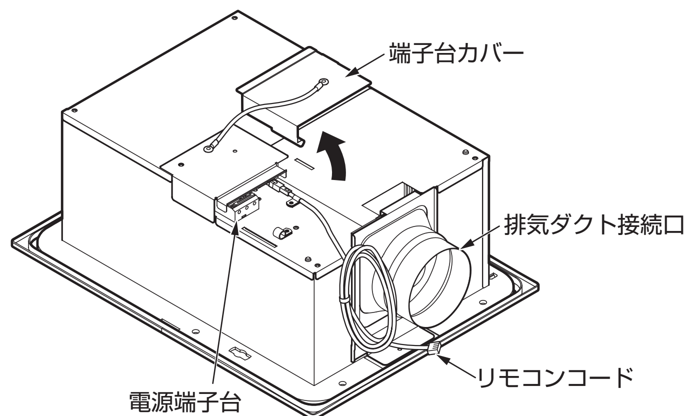
漏電遮断器を設けること。

温風の吸い込み、吹出口の10cm以内に衣類を含め、一切の造営物（しゃへい物）がないこと。

機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口を設けること。
(容易に点検・清掃できる構造のものを除く。)

3 各部の名称





4 現場手配品の確認

下記部品は現場にて手配してください。

電源用電線	VVFケーブルφ2.0	適量	電気工事用
アース線	銅線φ1.6以上	適量	アース工事用
アース棒		適量	アース工事用
スイッチボックス	2連(標準リモコン用)	1個	リモコン用 リモコン取付用ねじも現場手配 (標準リモコン 4本)

ベントキャップ		1個	排気用(外壁面取り付け)
取付補強材	TOTO品番 TYK570型	1個	製品を直付けする場合
補強材(吊り下げ用)	TOTO品番 TYK530型	1個	製品を天吊りする場合
吊り下げハンガー	TOTO品番 TYK521型	1個	製品を天吊りする場合
吊りボルト	M10または3／8インチ	4本	製品を天吊りする場合 ボルト・ナット各8個
自然給気口		適量	外気取入口
ランドリーパイプ	浴室寸法による	1本	
ダクト	φ100　不燃材	適量	排気用
アルミテープ	幅50mm(推奨)	適量	ダクト固定用

5 同梱部品の確認（不足しているものがないか確認してください）

本　体	グリル
	本体落下チェーン グリル取付ねじ（4本） グリルキャップ（2個） 表面パネル フィルター

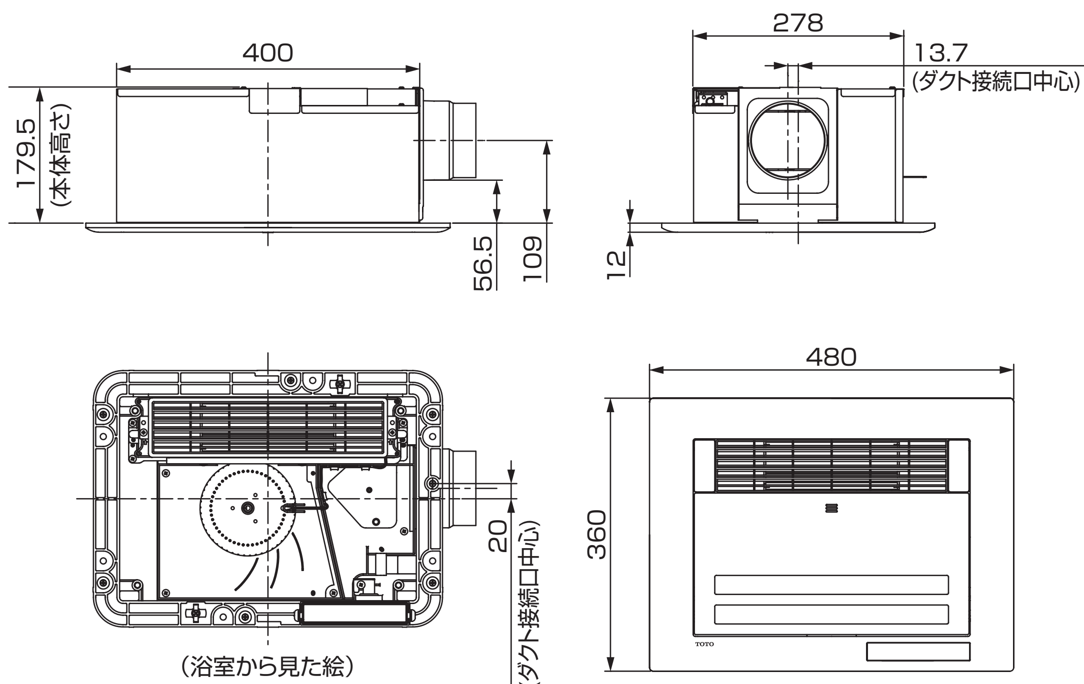
リモコン(クランプ・ねじ付き)	リモコンコード	リモコン取付ねじ	本体取付ねじ・ワッシャー
（1本）　（1個） (リモコン裏面に取り付いています)	5m（1本） (本体に取り付いています)	φ4.1×16（4本）	本体取付ねじ ステンレス製 φ4×40(7本)
		仮固定金具 （2セット）	ワッシャー6枚 （φ4.5×16）

排気ダクト接続口	型紙	取扱説明書	設置説明書(本書)

所有者票	個人情報保護シール	使いかたワンポイントシート

6 外形寸法

本　体

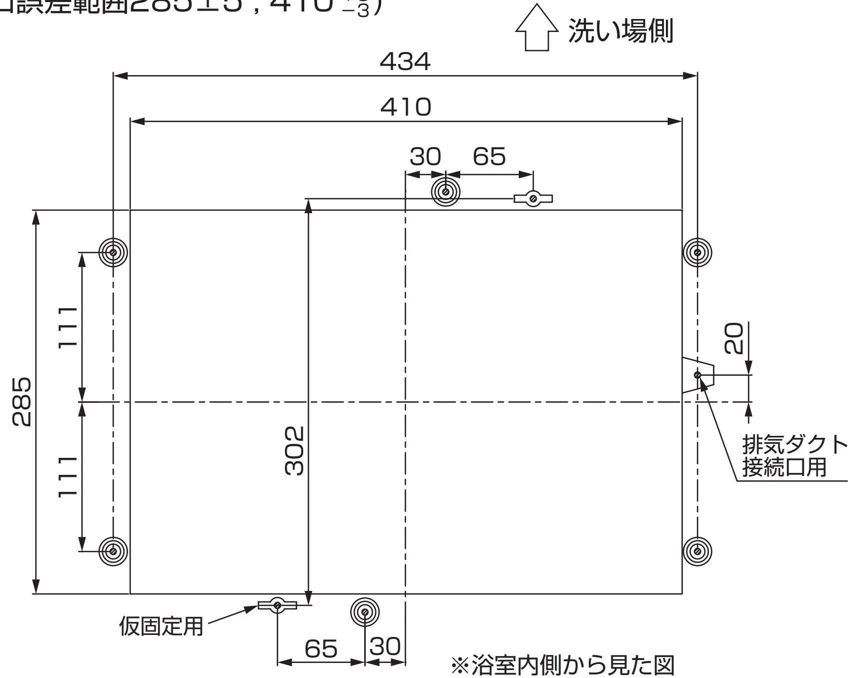


(浴室から見た絵)

天井開口寸法・下穴寸法

天井パネル開口：285×410
(開口誤差範囲285±5，410 $^{+5}_{-3}$)

(単位：mm)



下穴寸法：φ3.5

印	用途（数）
(仮固定用の印)	仮固定用（2カ所）
(ダクト接続口取付用の印)	ダクト接続口取付用（1カ所）
◎	本体固定用（6カ所）

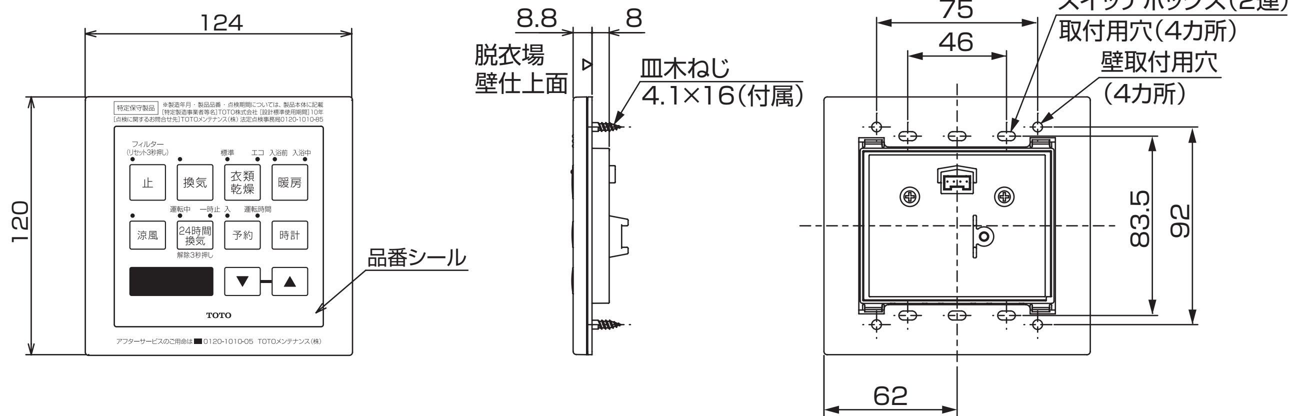
製品質量	
TYB211型	7.1kg
TYB221型	7.4kg

リ モ コ ン

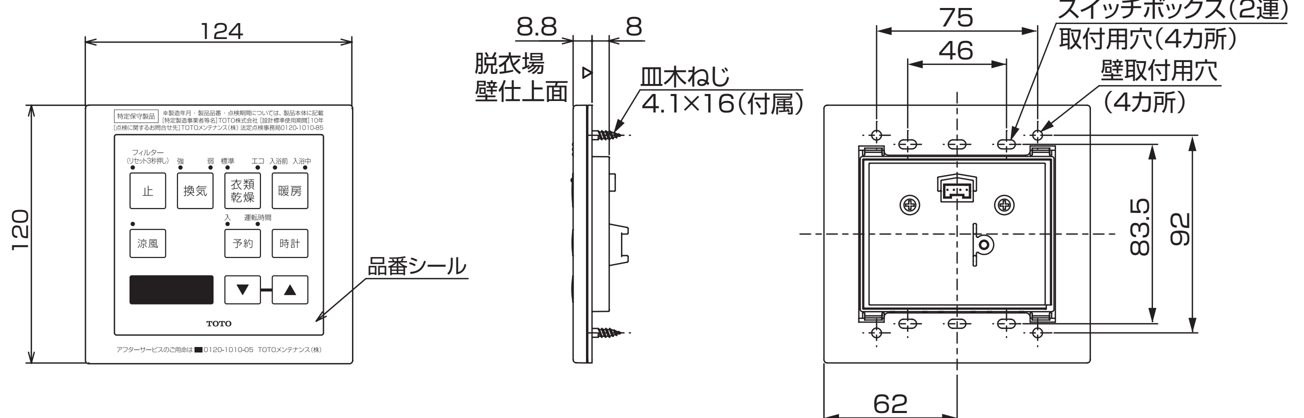
壁開口寸法	H74×W93（開口誤差範囲 H74 $^{+8}_{-0}$,W93 $^{+5}_{-0}$ ）

●24時間換気機能付きリモコンの場合

(単位：mm)



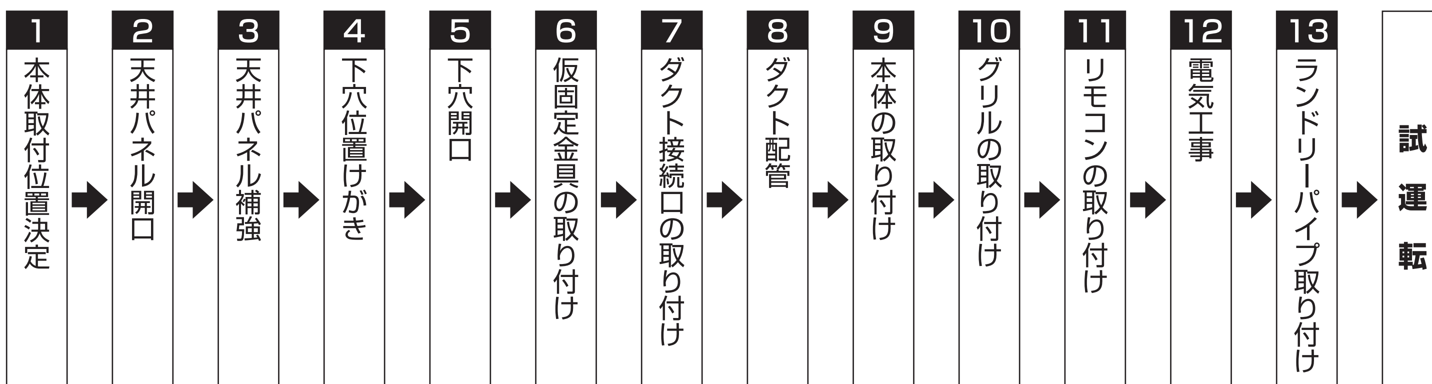
●24時間換気機能なしリモコンの場合



7 施工方法

お願い		
お願い	耐熱温度が60℃未満の天井材・壁材を使用した浴室には取り付けないでください。	温風によって変形・変色するおそれがあります。
	・浴室扉のガラリなど空気取入口を設けてください。 ・空気取入口が設置できない場合は、換気・乾燥のときに浴室のドアを少し開いてご使用頂きますと性能が確保できます。	換気・乾燥のときに性能が悪くなるおそれがあります。
	本体の上に断熱材（グラスウールなど）を載せないでください。	本体からの放熱を妨げ、故障の原因になります。
	高温になる場所に取り付けないでください。	故障のおそれがあります。
	製品を浴室以外の場所に取り付けないでください。	故障のおそれがあります。
	傾斜またはアーチ天井に取り付けないでください。	振動の発生や製品寿命の低下などのおそれがあります。
	本体が確認できる位置に必ず点検口を設けてください。	点検口がないと保守点検時の妨げとなります。
	本体設置工事と電気工事が異なる作業区分の場合、設置説明書(本書)および関連部品を確実に電気工事業者様へお渡しください。	
	浴室リモコン(別売品)を接続する場合は、浴室換気暖房乾燥機設置の前に必ず浴室リモコン(別売品)専用の設置説明書をご覧ください。	
	TYB211型の電源は100Vを接続してください。	200Vを印加すると基板が破損します。
		100V仕様製品への200V印加による故障は、有償修理となります。
	TYB221型の電源は単相200Vを接続してください。	100Vを印加するとリモコンにエラー表示「E：20」が表示され作動しません。

施工手順



天井開口および天井補強材がはり付けされている場合は、ここからの作業となります。

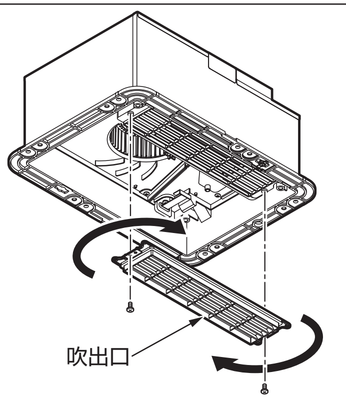
1. 本体取付位置決定（現場開口の場合）

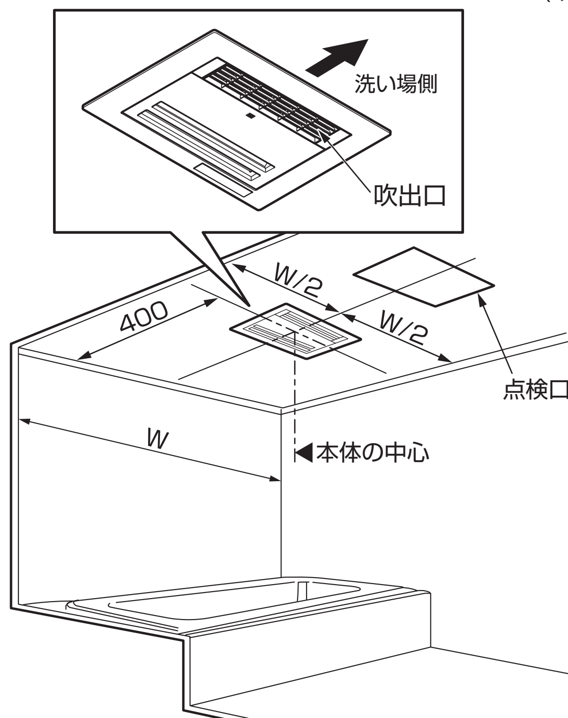
(単位：mm)

（1）右図の推奨位置を参考に本体取付位置を決める。
・本体は、天井の水平面に、吹出口が洗い場側に向くように取り付けてください。
・天井裏に梁などがある場合は、浴室換気暖房乾燥機の方向・位置を変えて設置してください。
ただし、推奨位置に設置したときに比べて衣類乾燥時間が長くなったり、暖房性能が悪くなる場合があります。

⚠注意

・排気ダクト接続方向により、本体取り付けの向きを変えた場合、吹出口の向きも変える
吹出口の向きは2方向に変更できますので、風が洗い場へ向くように変更してください。





(2) 本体取付位置が決まったら、ランドリーパイプの位置を確認する。
照明や収納パネルが障害となる場合があります。

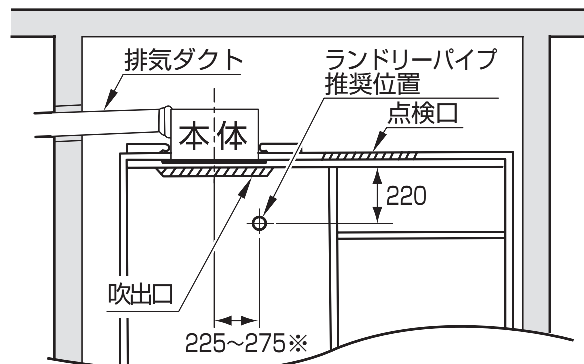
- **当社ユニットバス設置の場合は、ユニットバス付属の組立要領書記載の所定位置に取り付ける**
- 乾燥性能を優先する場合は本体取付位置を、ランドリーパイプ位置にあわせて変更してください。
- ランドリーパイプは、浴室の天井が高いときや照明などがあり、取り合いが悪い場合は、推奨位置より下方向へずらして取り付ける
  ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。

⚠ 注意

- **ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない**
  ランドリーパイプが過熱し、やけどのおそれがあります。

(単位：mm)

【ランドリーパイプ推奨位置】



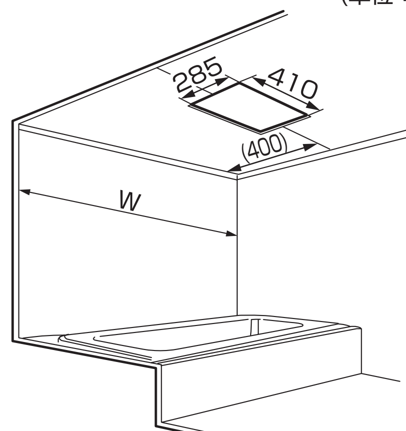
※本体取付方向を反転させた場合は40〜90

2. 天井パネル開口（現場開口の場合）

(単位：mm)

(1) 天井パネルの推奨位置に285×410の開口を行う。
(開口誤差範囲 285±5，410±$^{5}_{3}$)

(2) 天井材が化粧鋼板の場合、切口には防錆材を塗布する。



⚠ 注意

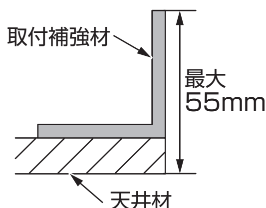
- **天井組み立て後に天井開口や下穴加工を行う場合は、浴室内へ切りくずなどを残さないこと**
  さびなどの原因になります。

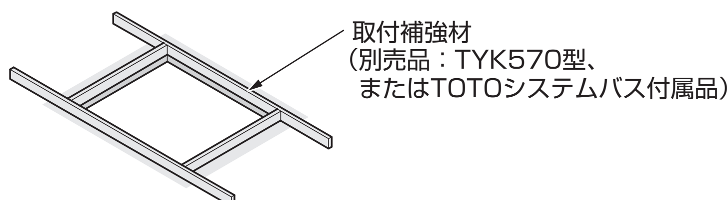
3. 天井パネル補強（現場開口の場合）

製品質量（TYB211型：7.1Kg／TYB221型：7.4Kg）に耐えるように天井パネルを補強する。
取付補強材（別売品：TYK570型、またはTOTOシステムバス付属品）の使用をおすすめします。
取付補強材（別売品：TYK570型、またはTOTOシステムバス付属品）を使用する場合は、接着剤(現場手配)で天井裏に接着します。

⚠ 注意

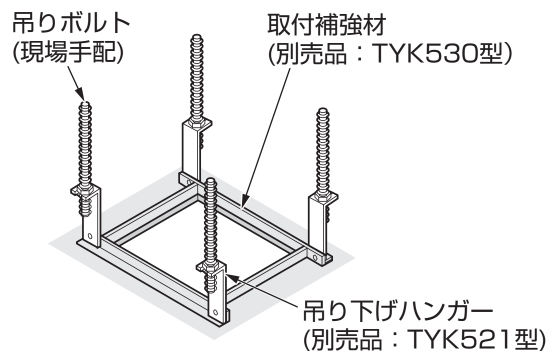
- **取付補強材は天井材を含めて55mm以内にする**
  (推奨品TYK570型使用の場合は、天井厚さ35mmまでとなります)
  これを越えるとダクトが取り付けできないため、製品が取り付けできません。
  ※付属の本体取付ねじはφ4×40です。





天吊りする場合

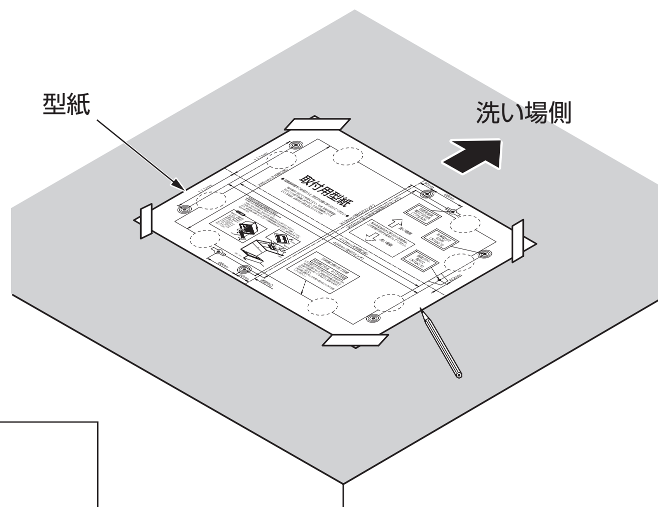
天井パネルの補強が十分でない場合は、天井裏上部の根太などから吊り下げる。
吊り下げを行う場合は、取付補強材（別売品：TYK530型）、吊り下げハンガー（別売品：TYK521型）を使用してください。



4.　下穴位置けがき

型紙を使用して下穴位置をけがく。
下穴寸法：φ3.5

印	用途（数）
⊂•⊃	仮固定用（2カ所）
⌂	ダクト接続口取付用（1カ所）
◎	本体固定用（6カ所）

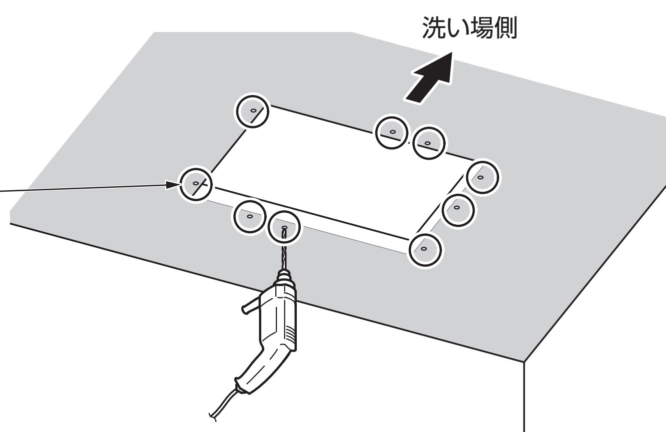


⚠ 注意

・洗い場側の向きを確認する。
　※型紙には向きがあります。
・本体の取り付け向きを変更する場合は、型紙の向きも変更する。

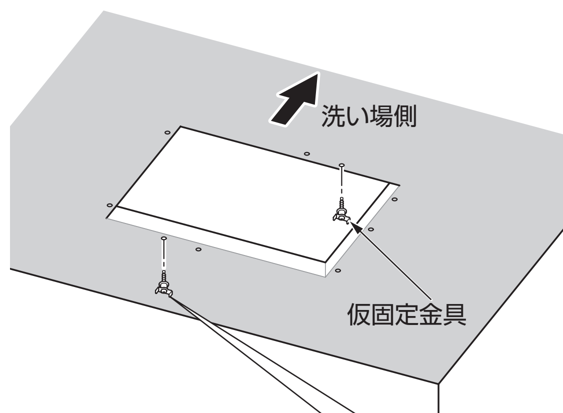
5.　下穴開口

型紙をはがし、仮固定用（2カ所）、ダクト接続口取付用（1カ所）、本体固定用（6カ所）の下穴を開口（φ3.5）する。

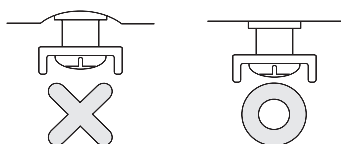


6.　仮固定金具の取り付け

仮固定金具をねじ止めする。(2カ所)

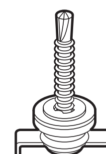


ねじを強く締め付けすぎると、天井が変形することがありますので注意してください。



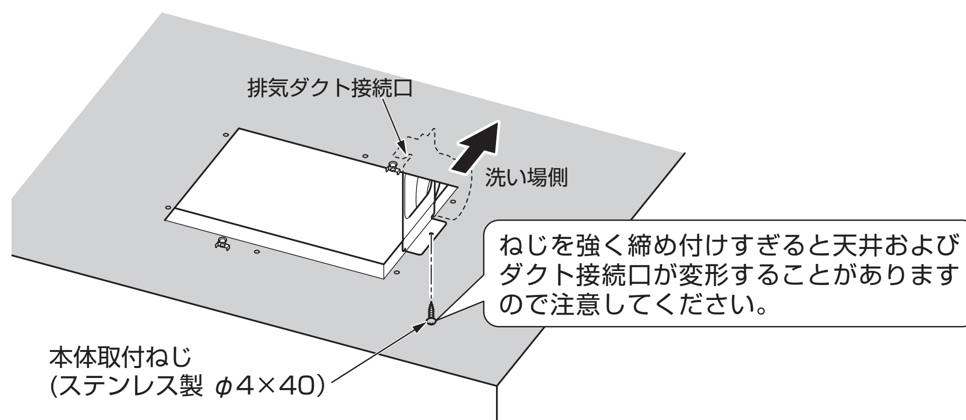
⚠ 注意

・天井裏の補強材に確実に固定されていることを確認する
　確実に固定しないと本体が落下するおそれがあります。



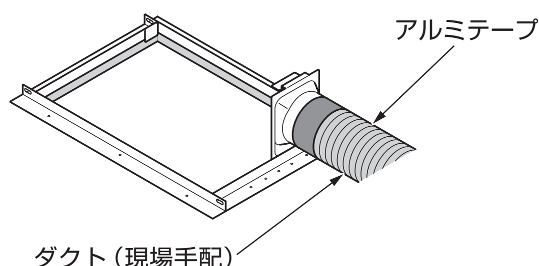
7.　ダクト接続口の取り付け

ダクト接続口をねじ止めする。
(ワッシャーは使用しません)



8.　ダクト配管

アルミフレキ管などのダクトを接続し、アルミテープで風漏れのないようする。（呼び径φ100）



⚠ 注意

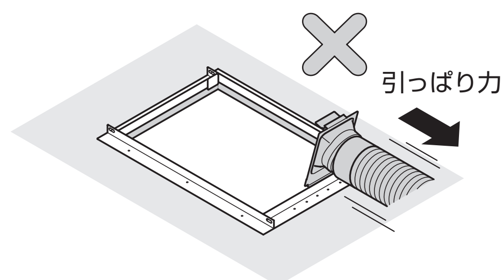
・配管時にダクトに力がかからないようにする

・配管は天井裏のスラブより吊るし、ダクト接続口に力が加わらないようにする

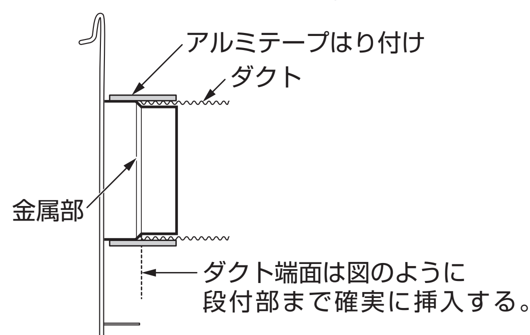
・Y管接続の場合は、排気出口近くで接続する
また、逆流しないように逆止弁などを付ける

・**排気ダクト接続口は結露水の逆流を防ぐため屋外に向けて1／100以上の傾斜をつける。**

※排気ダクト接続長さは、目安として直管20m相当以内にしてください。



・ダクトは右図のようにダクト接続口に確実に挿入し、アルミテープにて確実に固定する



・次のようなダクト設置はしない
風量低下や異常音発生の原因になります。

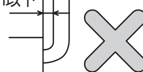
・極端な曲げ



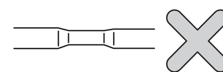
・多数の曲げ
（曲げ数が多くなれば風量が低下します。）



・排気口のすぐそばでの曲げ



・接続ダクト径を極端に小さくする(しぼり)

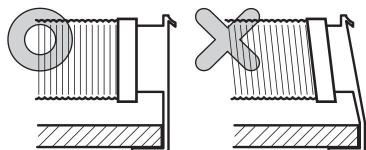


・既設のダクトに接続するときは、ダクト内部に異物がないかを確認する
異物があると、風量低下や異音の原因になります。

裏面の「9.本体の取り付け」につづく

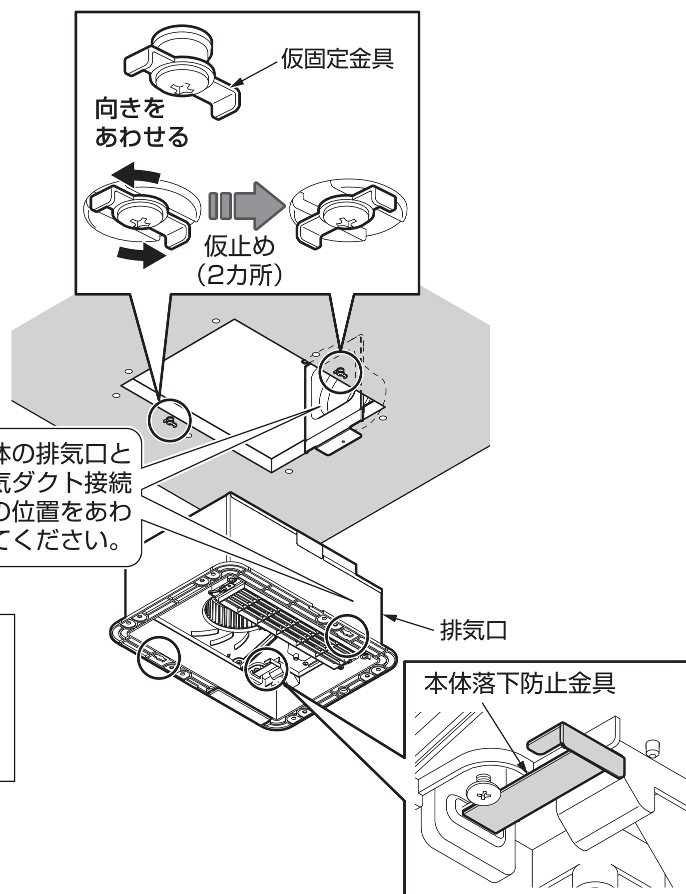
9. 本体の取り付け

（1）排気ダクト接続口が外側へ倒れていないか確認する。



ダクト接続口に無理な力がかかっていれば 配管を修正しダクト接続口を真っすぐにしてください。

（2）本体取り付け前に、
- 取付枠の仮固定金具の向きを右図のようにあわせる。
- 本体落下防止金具が右図の位置にあることを確認する。

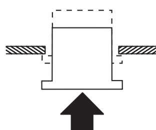


（3）本体を挿入し仮固定金具を回して仮止めする。

⚠注意

- **仮固定金具の向きをあわせ、本体を奥までいれる**
  無理に本体を入れると仮固定金具が変形することがあります。

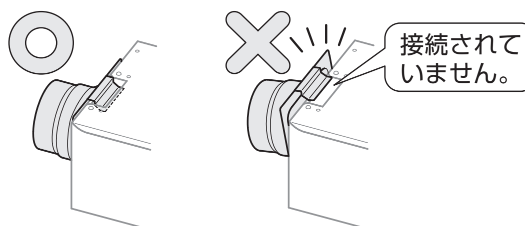
- **コードの挟み込みに注意しながら天井の水平面に挿入する**
- **本体の向きに注意**



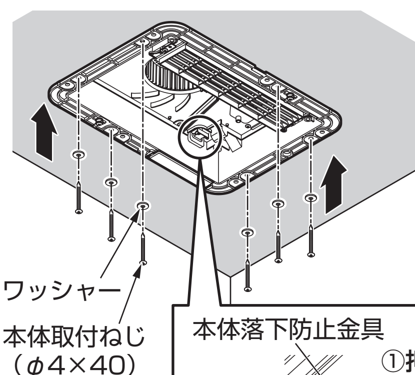
⚠警告

- **仮止めは一時的な固定なので、このままの状態で放置しない**
  落下するおそれがあります。
  ねじ止めして確実に取り付けてください。

（4）ダクト接続口と本体が確実に接続されていることを点検口から見て確認する。



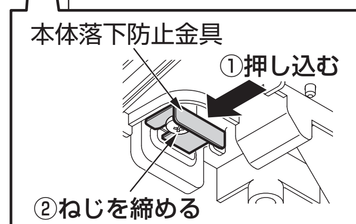
（5）本体をワッシャー(6枚)、本体取付ねじ(φ4×40、6本)で固定する。



⚠警告

- **インパクトドライバーは絶対に使用しない**
  締め過ぎにより取付ねじの破損のおそれがあります。
  電動ドライバーを使用する場合は締付トルク3N・m以下のものを使用してください。
- **取付ねじは最後まで締め込む**
  本体が落下する危険性があります。

（6）本体落下防止金具を右図のように押し込み、本体落下防止金具取付ねじを締める。
押し込まないとグリルが取り付きません。

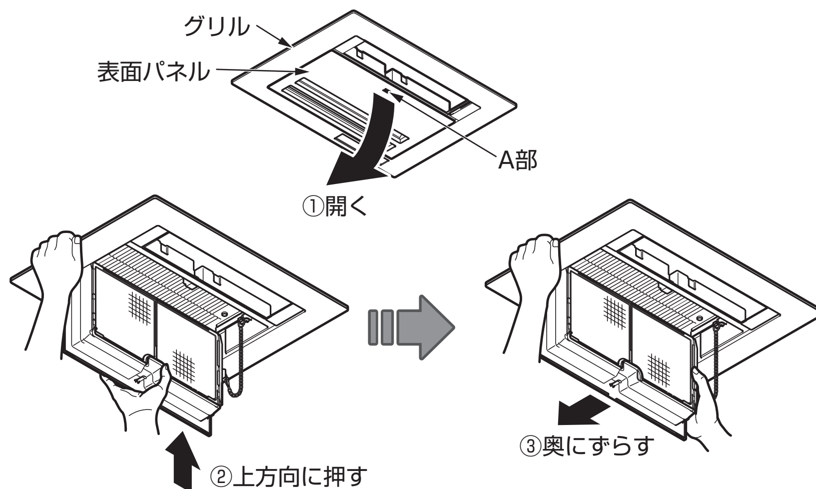


10.　グリルの取り付け

（1）グリルから表面パネルを取り外す。

①A部を押し、表面パネルを開く。

②表面パネルを上方向に押し、奥にずらすと表面パネルが外れます。



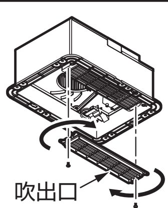
（2）グリルを本体に取り付ける。

①本体落下防止金具が押し込まれていることを確認する。

※本体落下防止金具が押し込まれていないとグリルが取り付けできません。

※本体取り付けの向きを変えた場合は吹出口の向きを洗い場方向へ変更する

「1. 本体取付位置決定」の ⚠注意 を参照してください。



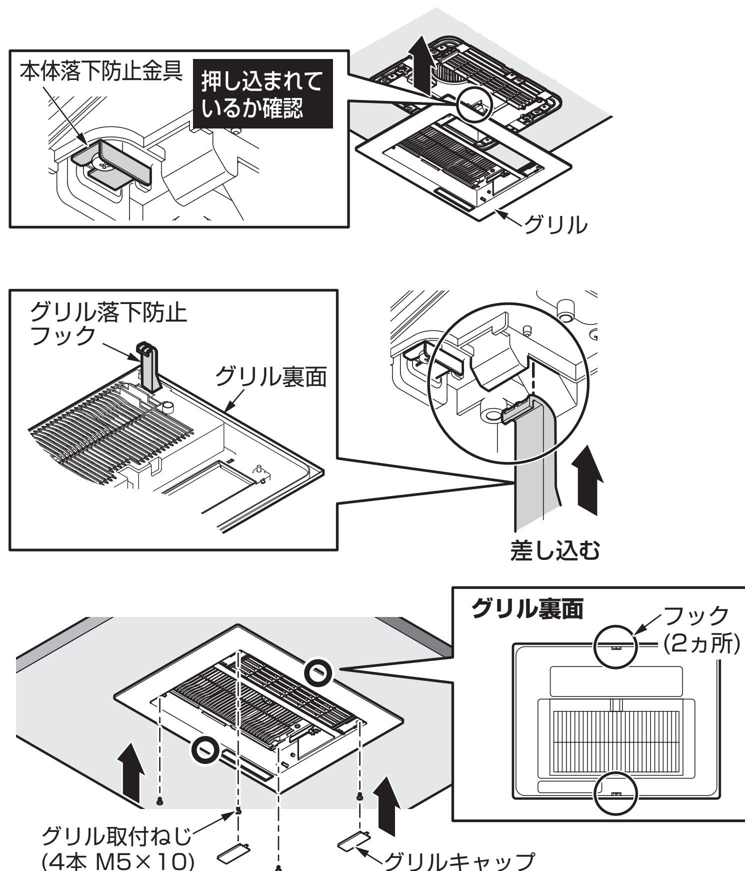
②図の位置に、グリルの落下防止フックを差し込む。

③グリル裏側のフック（2カ所）を本体に差し込み、右図 ○ 印部2カ所を押さえて仮固定する。
グリルコーナー部（4カ所）をグリル取付ねじ（M5×10）でねじ止めして本固定する。
※ねじはグリルに取り付いています。

④グリルキャップ（2カ所）を取り付ける。

⚠注意

・グリルの取り付けは必ず手締めで行う
電動ドライバーなどで強く締め付けるとグリルが破損するおそれがあります。

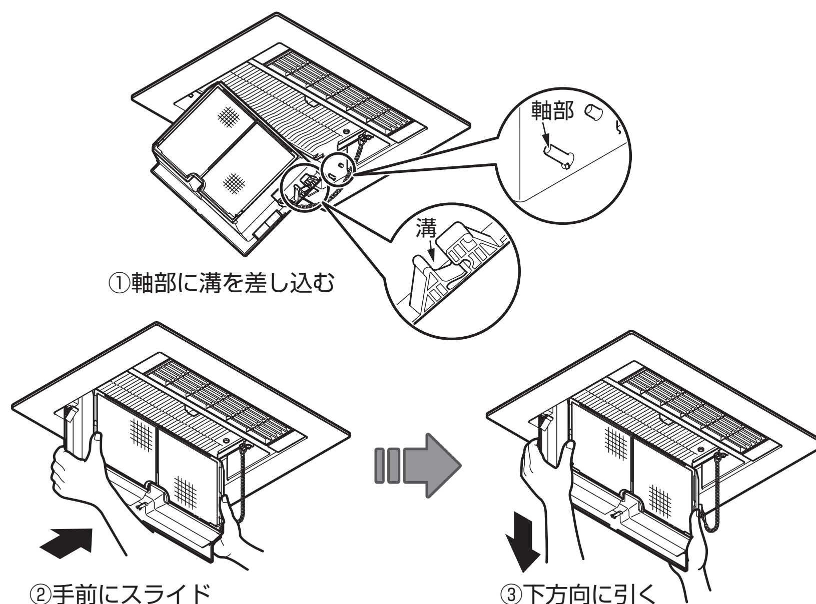


（3）グリルに表面パネルを取り付ける。

①グリルの軸部に表面パネルの左右の溝を差し込みます。

②手前に表面パネルをスライドさせて、下方向に引くと固定されます。

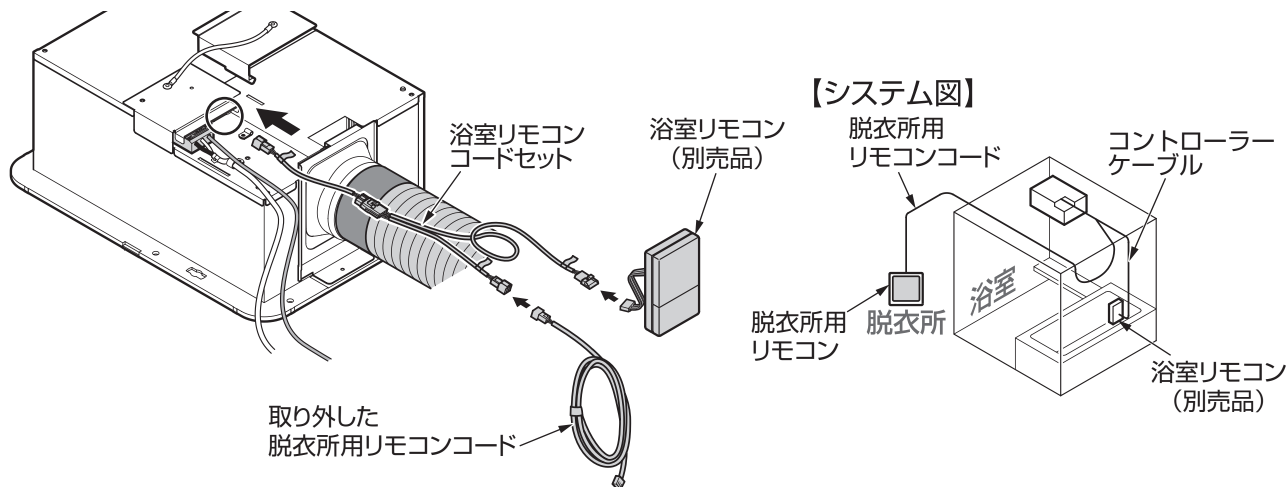
③表面パネルを閉める。



11. リモコン（脱衣所用）の取り付け

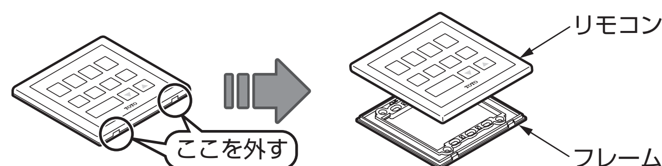
浴室リモコン（別売品）を取り付ける場合

本体付属のリモコンコードをいったん取り外し浴室リモコンコードセットを浴室換気暖房乾燥機本体に取り付け、取り外した脱衣所用リモコンコードを取り付ける。



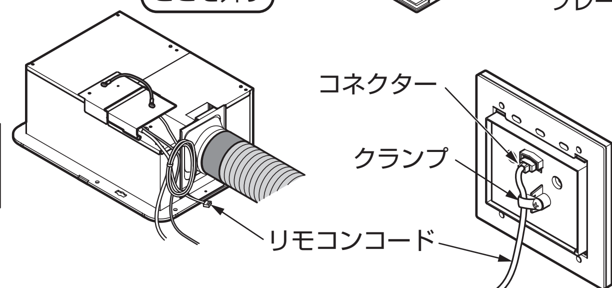
浴室リモコン（別売品）のその他の施工は、浴室リモコン（別売品）の設置説明書をご覧ください。

(1) リモコンからフレームを取り外す。



(2) リモコンコードを本体からリモコン取付位置まで配線する。
※リモコンコードを配管に通すときは、φ15以上の配管に通してください。

・リモコンコードは本体から5mです。
リモコンコードが届く範囲にリモコンを取り付けてください。

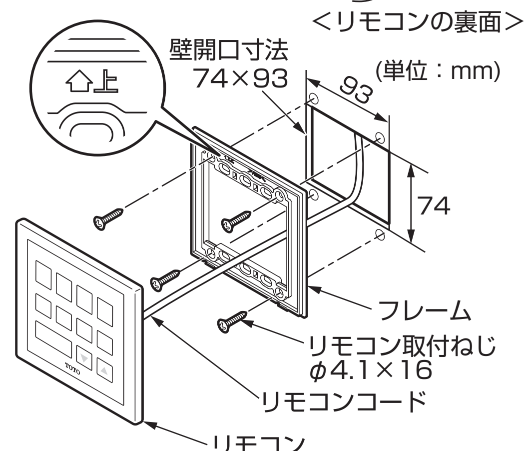


(3) 壁に開口を行う。
壁開口寸法・・・H74×W93（開口誤差範囲H74$^{+8}_{-0}$, W93$^{+5}_{-0}$）
※2連用スイッチボックス(JIS C 8336)も利用できます。
ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。

(4) フレームにリモコンコードを通し、フレームをリモコン取付ねじ（φ4.1×16，4カ所）で壁に固定する。
※フレームの上下方向を確認してください。

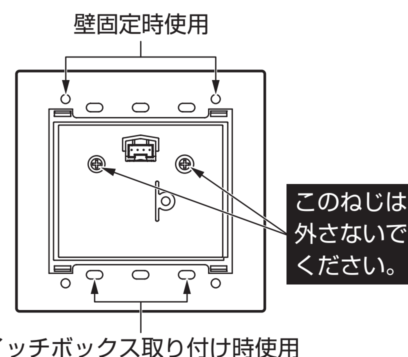
(5) リモコンのコネクターにリモコンコードを接続し、リモコンに付属のクランプでリモコンコードを固定する。

(6) リモコンを「カチッ」と音がするまでフレームに取り付ける。



⚠ 注意

- **リモコンを確実に取り付ける**　作動不良の原因になります。
- **リモコンの取り付けは必ず手締めで行うこと**
  電動ドライバーなどで強く締め付けると、リモコンが破損するおそれがあります。
- **リモコンは、浴室内には取り付けない**　故障の原因になります。
- **リモコンコードの断線に注意する**
- **浴室リモコン（別売品）の場合は、リモコンコードの接続方法が異なります。**
  詳しくは浴室リモコン（別売品）の設置説明書をご覧ください。
- **リモコン裏に付いているねじは外さない**
- **スイッチボックスに取り付ける場合は、ねじを締めすぎない**
  フレームが変形してリモコンがうまく入らなくなるおそれがあります。

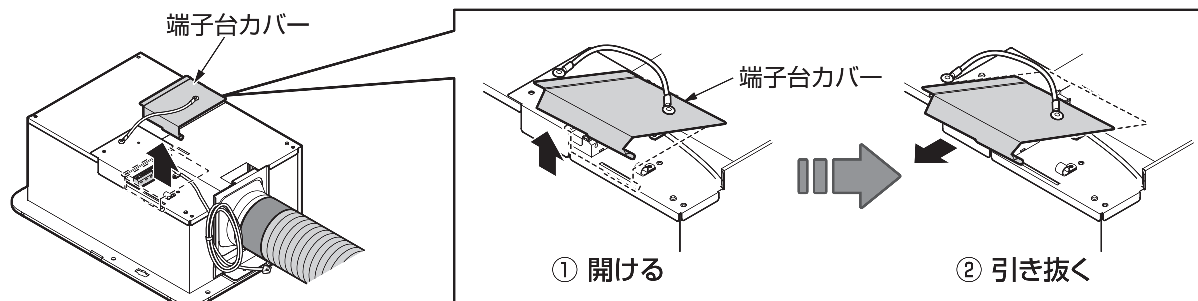


12. 電気工事

⚠注意

・TYB211型の電源は100Vを接続する
100V品に200Vを印加すると基板が破損します。

（1）端子台カバーを開く。

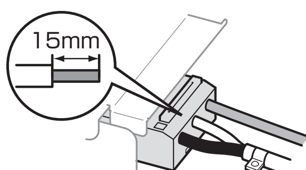


（2）電源コードおよびアース線を接続する。

重要 **電源端子台への接続について**

・各々の芯線が真っすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を“グッ”と奥まで確実に差し込む。

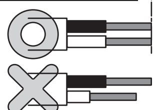
確実に差し込む



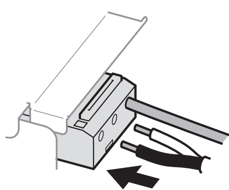
接続後、電源コードの芯線が左図のように差し込まれていることを再度、目視で確認する

・電源コードの芯線2本が均一になるように加工する。(端子台の手前で均一になるように加工してください。)

端面を揃える



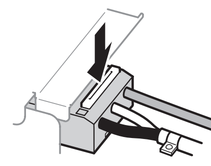
・端子台に芯線を奥まで真っすぐ挿入する。



・端子台の近くで大きく曲げない。先端が十分に差し込まれない場合があります。



・電線を外すときは、ここを電工ドライバーで強く押してください。



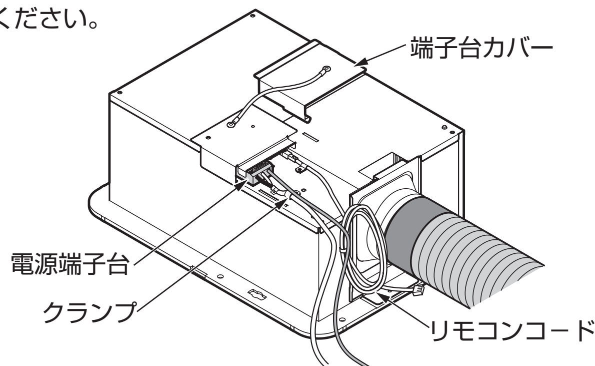
⚠警告

・**電源コード(VVFケーブル)は、先端をそれぞれ端子台に確実に差し込む**
差し込みが不十分だと火災のおそれがあります。また、端子台内部の発熱により端子台が故障し「E16」エラーとなる場合があります。その場合は端子台コネクター(青色)の導通を確認し、断線していれば端子台の交換が必要になります。
・電源コードはφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用する。より線は使用しない。

・専用の遮断器（20A）を取り付けてください。また漏電遮断器を取り付けてください。
・専用の漏電遮断器を設置の場合、15mA、動作時間0.1秒の高感度タイプのものをおすすめします。
・電源コード（VVFケーブルφ2mm）は、点検が行えるように、本体取付位置より3mほどゆとりをもたせて配線してください。
（電源コードを束ねたまま配線しない。）
・アースはD種接地工事を行ってください。

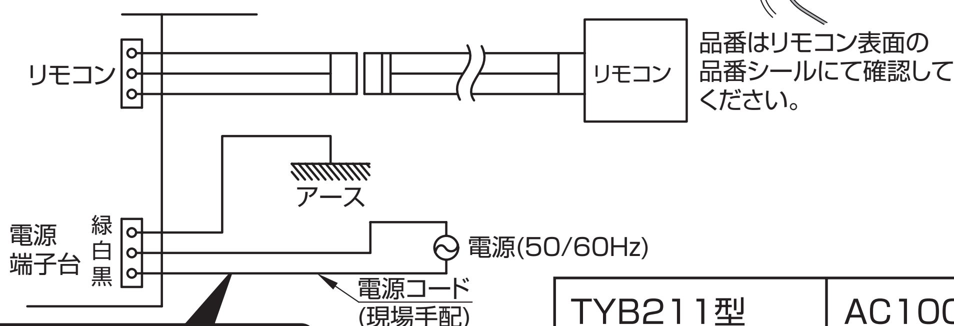
12.　電気工事のつづき

（3）電源コードをクランプで固定する。
・電源コード（VVFケーブルφ2mm）およびアース線（φ1.6mm～φ2mm）を電源端子台に接続し、電源コード（VVFケーブルφ2mm）は本体のクランプで固定してください。



（4）リモコンコードを確認する。

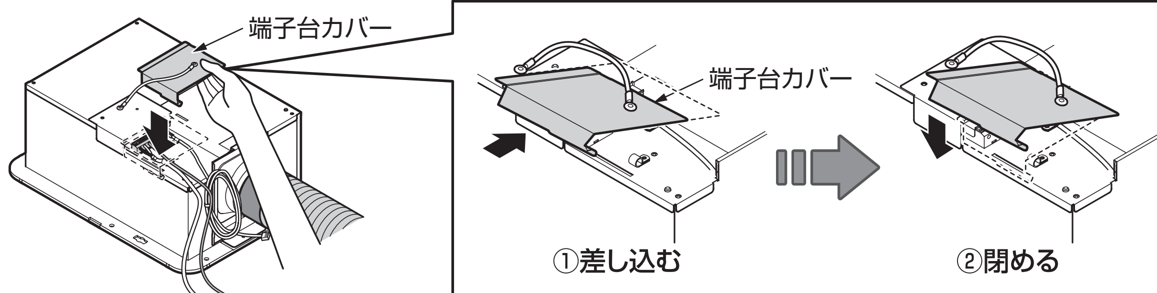
・**リモコンコードのコネクターが中継リモコンコードに確実に差し込まれているか確認する**



TYB211型	AC100V
TYB221型	単相AC200V

（5）端子台カバーを取り付ける。

⚠ 警告
・**必ず端子台カバーを取り付ける**
カバーを取り付けなかった場合、ほこりの蓄積や水にぬれることにより、火災となるおそれがあります。

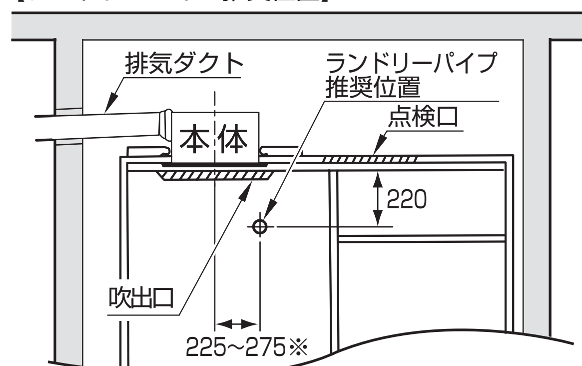


13.　ランドリーパイプの取り付け

（1）「1. 本体取付位置決定」のランドリーパイプ推奨位置にランドリーパイプを取り付ける。
（2）ランドリーパイプ真下の壁面に、ランドリーパイプに付属の注意ラベルをはり付ける。
※詳しくは、ランドリーパイプ付属の説明書をお読みください。

(単位：mm)

【ランドリーパイプ推奨位置】



※本体取付方向を反転させた場合は40～90

⚠注意

- **浴室の天井が高いときや照明などがあり、取り合いが悪い場合は、推奨位置より下方向へずらして取り付ける**
  その場合、乾燥時間がやや長くなる場合があります。 また、上記以外の位置に取り付けますと、乾燥時間が長くなる場合があります。
- **TOTOシステムバス設置の場合は、システムバス付属の組立要領書記載の所定位置に取り付ける**
- **本体を反転させて取り付けた場合は、ランドリーパイプ取付位置も変更する**
  （水平方向225～275が40～90となります）

8 試運転

施工が終わりましたら、再度結線や取付方向などが間違っていないか確認して「取扱説明書」の「使いかた」を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実で振動・異常音がないか確認してください。
※電源を投入すると、最初にリモコンの表示部がー：ーー点滅します。
※TYB221型は電源を投入すると、約30秒間ファンが動作します。
これは初期動作であり故障ではありません。

⚠注意	運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない	回転による傷害のおそれがあります。

お願い

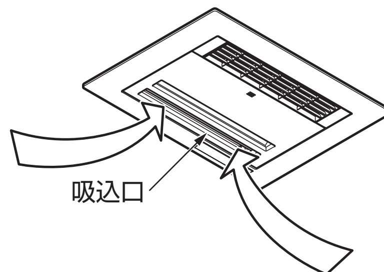
- 試運転の前にフィルターに付着したほこり・ゴミなどを取り除いてください。
  風量が少ない、騒音が大きいなど性能低下の原因となります。
- 試運転の際はグリルを養生シートなどで覆わないでください。熱がこもり変形などの原因になります。

1. 動作の確認

（1）換気

[換気] を押して本体グリルより換気していることを確認する。

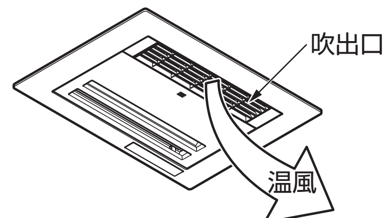
[止] を押して停止させる。



（2）乾燥・暖房

[暖房] または [衣類乾燥] を押して吹出口から温風が出ていることを確認する。

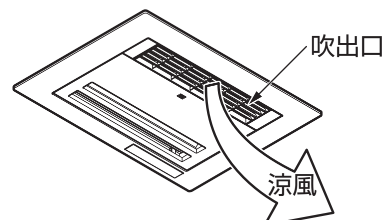
[止] を押して停止させる。



（3）涼風

[涼風] を押して吹出口から風が出ていることを確認する。

最後に [止] を押して涼風運転を停止させる。



2.　試運転時のチェックポイント

試運転時に不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合	チェックポイント
電源が入らない	本体に電源を確実に接続していますか？ TYB211型　AC100V TYB221型　単相AC200V →確実に接続してください。 ☞「7 12. 電気工事」を参照してください。
	リモコンコードとリモコンを確実に接続していますか？ →確実に接続してください。 ☞「7 11. リモコンの取り付け」を参照してください。
	リモコンコードを施工中に切断していませんか？ →誤って切断した場合は、部品交換してください。
	分電盤のブレーカーに電源線を確実に接続していますか？ →確実に接続してください。
異常音が出る	本体をしっかり天井に取り付けていますか？ →しっかり固定してください。 ☞「7 9. 本体の取り付け」を参照してください。
	ファンに段ボールなどが詰まっていませんか？ →詰まっていたら、取り除いてください。
	脱衣所の空気取り入れを確保していますか？ →空気取り入れを確保してください。
	※止スイッチを押したときに「カチッ」と音がするのはリレーの動作音です。 故障ではありません。
リモコンにエラー表示 （E：02など）が出る	・「E：02」（リモコン通信エラー）の場合 リモコンコードの接続が確実に行われていますか？ →確実に接続してください。 ☞「7 11. リモコンの取り付け」を参照してください。 ・「E：20」（200Vタイプ製品の100V印加エラー）の場合 TYB221型（単相AC200V）にAC100Vが接続されていませんか？ →単相AC200Vを接続してください。 上記の処置を行い、再度電源をリセットしてみてください。それでも直らない場合は運転を停止し、電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。 ・「E：16」（端子台温度ヒューズ溶断エラー）の場合 電源接続が不十分なため温度ヒューズが溶断した可能性があります。 →電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。
リモコンに「Err」の 点滅表示が出る	本体に正しく対応したリモコンが取り付けられていますか？ →リモコン表面の品番シールを確認し、シールの品番が本体品番と異なっていたら、正しいリモコンを取り付けてください。
換気風量が 不足している	・排気ダクトは正しく接続されていますか？ →確実に接続してください。 ・排気ダクト内部に異物がありませんか？ →異物を取り除いてください。 ☞「7 8. ダクト配管」を参照してください。

・暖房や乾燥の運転直後はすぐには温風は出ません。徐々に温度が上がっていきます。
・運転停止後は機器の保護のため約20秒間運転が継続する場合があります。

9 設定変更モード

本製品は、現場の状況にあわせて工場出荷時の設定を変更できます。

A. 24時間換気（常時換気）風量変更【TYB2※1G型のみ】

（1）変更可能な内容

右表が変更可能な換気風量となっています。

★印が工場出荷時の設定です。

※L2、L3に設定変更時、風量は大きくなりますが、涼風・乾燥運転時の換気風量が小さいため、対応床面積は変わりません。

●24時間換気風量(m^3/h)

機種	換気風量	表示部
TYB211G型 TYB221G型	換気風量 小	★ L 1
		L 2
	換気風量 大	L 3

★印は工場出荷時の設定です。

（2）設定変更の仕方

①（運転をしている場合は [止] を押す）

[▼] を押したまま、[予約] を約3秒間以上押す。（設定変更モードになります）

TYB211G型の場合、表示部が [AM・PM・ 2 1 1] といった表示になります。

② [▼] [▲] を押して24時間換気風量設定変更モード [-: 1] にあわせ、[予約] を押します。

③ [▼] [▲] を押して、右表を参考に風量設定を変更し、[予約] を押して設定を確定させる。

B. 換気風量設定変更方法

（1）変更可能な内容

右表が変更可能な風量となっています。

★印が工場出荷時の設定です。

●換気風量(m^3/h)

機種	換気風量	表示部
TYB211型 TYB221型	換気風量 小	80
		★ 120
	換気風量 大	160

★印は工場出荷時の設定です。

（2）設定変更の仕方

①（運転をしている場合は [止] を押す）

[▼] を押したまま、[予約] を約3秒間以上押す。（設定変更モードになります）

TYB211型の場合、表示部が [AM・PM・ 2 1 1] といった表示になります。

② [▼] [▲] を押して換気風量設定変更モード [-: 2] にあわせ、[予約] を押します。

③ [▼] [▲] を押して、右表を参考に風量設定を変更し、[予約] を押して設定を確定させる。

設定を中止するとき

途中で設定変更を中止する場合は [止] を押す。

設定を元に戻すとき

設定を工場出荷時の設定に戻したいときは [▼] を押したまま [止] を3秒以上押す。

表示部が [CLA] となり点滅します。

試運転(設定変更)のあとは

■工事店様へ

施工後は、同梱の「取扱説明書(保証書付)・使いかたワンポイントシート」をお客様にお渡ししてから、製品の使いかたを説明してください。

取扱説明書に付属の保証書には、店名およびお取付日を必ず記入してください。